

平成28年度 藍野高等学校 学校評価

1 めざす学校像

高等学校卒業生として必要な基礎基本的な科学知識・一般教養を身に付けさせるとともに准看護師養成校としての立場から、看護に関する基礎基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解した心優しい職業人としての資質育成を行う。

2 中期的目標

1 基礎基本的な学力の定着

- (1) 指導要領による教育課程の検証
- (2) ベネッセによる基礎力診断テストの実施と考察
- (3) 個人面談の複数回実施
- (4) 長期休暇中の補習と放課後の希望者による補講
- (5) 基礎教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施
- (6) 校外で実施される教員研修への参加奨励

2 准看護師資格試験合格者 100%達成

- (1) 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施
- (2) 模擬テスト結果を分析した習熟度別グループ分けによる効果的な補習
- (3) 看護に関するレポート・小論文の作成指導の徹底
- (4) 関係医療機関との密な連携
- (5) 看護師を強く志望する意欲的な入学生の確保

3 学習環境の整備

- (1) 校舎・校地の清掃徹底
- (2) 教室・設備の充実

4 学校運営の充実と検証

- (1) 生活指導体制の強化と充実
- (2) 学校生活充実目的の諸調査実施と検証
- (3) 教職員の質の向上

28年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.1

中期的目標	新指導要領に伴い基礎・基本的な学力の定着	
本年度目標	基礎・基本的学力の定着を図る	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
<p>ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領に即しているかを点検 ・教科研修会に多く参加できたか 	<p>基礎・基本的学力の定着を図る</p> <p>ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領に即しているかを点検 <p>シラバスについては、ほぼ全科目が期限内に作成できた。ただ、指導要録に即しているかどうかの点検は不十分であるため、今後はその点についても細かく内容を点検するようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科研修会に多く参加できたか <p>教科研修会等には前年より積極的に参加することができたが、教科によって参加状況には偏りがみられる。</p>
<p>イ. ベネッセによる基礎力診断テストを活用して生徒の学力を把握し、生徒全体の学力向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談の複数回実施 ・補習・補講の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストを活かしての学習改善・面談の複数回実施 ・定期考査後の補習充実を行う ・長期休暇中の課題・補講を全教科で考慮する 	<p>イ. ベネッセによる基礎力診断テストを活用して生徒の学力を把握し、生徒全体の学力向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談の複数回実施 ・補習・補講の実施 ・基礎力診断テストを活かしての学習改善・面談の複数回実施 <p>英数国の模試を、1年生は4回、2年生は3回、3年生は2回実施した。実施前に復習課題の提出を全員に徹底させることで、生徒の学習に取り組む姿勢を改善することができた。また、一部の教科においては、テスト結果を評価に反映させることで生徒の学習意欲を高めることができた。加えて、学期毎に実施する個別面談の資料としてテスト結果を活用し、学習意欲・学習習慣の形成につなげることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査後の補習充実を行う <p>1・2学期それぞれの期末考査での成績不振者(39点以下)全員に対して、学期末に各教科4日間の補習を実施した。結果的に、参加生徒の学力向上への意欲を喚起できたと思われる。成績不振者を極力出すことがないよう、成績不振者への早期からの働きかけを計画的に行いたい。定期考査後の補習の実施・長期休暇中の課題準備については、まだまだ検討の余地がある。将来的には、成績不振者だけではなく成績上位層に対しても課外学習を行いたい。そのためにも、定期考査後、生徒の学力分析を迅速に行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇中の課題・補講を全教科で考慮する <p>長期休暇中の課題・補講を全教科で検討したが、実施できなかった教科もあった。課題の効果について共通理解したうえで教員の意識を向上させ、学校全体の取り組みとして組織的に実施できるようにしたい。</p> <p>新入生に対しては、中学の履修内容についての理解度を確認する目的で、入学説明会実施時に5教科（英数国理社）問題集を入学前の課題として与え提出させた。</p>
<p>ウ. 基礎教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証 ・学力底上げのための教材準備 ・学習意欲の強い生徒への補助教材の準備 	<p>ウ. 英・数・国などの主要教科において、学力向上を意識した効果的なグループ編成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証 <p>数学科では基礎力診断テスト結果により補習対象者を絞り込み、放課後に補習を行うことで成果をあげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力底上げのための教材準備 <p>学力底上げのために中学校での問題も活用して教材準備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の強い生徒への補助教材の準備 <p>学習意欲の強い生徒への補助教材の活用は個別対応にとどまっており、組織的な取り組みにはいたっていない。</p>

<p>エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする</p> <p>オ. 看護教科学習の研究を行う</p>	<p>・教員主導型でなく、できるだけ、生徒に主体的に参加をさせる</p> <p>・看護教育研究委員会を立ち上げ研究を進める</p>	<p>エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする</p> <p>・教員主導型でなく、できるだけ、生徒に主体的に参加をさせる</p> <p>朝学習の実施内容は各学年で生徒の状況を見ながら年々工夫が重ねられ、計画的かつ継続的に進められている。学習到達度に応じて、生徒自身に問題作成や解答解説を行わせることにより、生徒の参加意識を高めることができた。</p> <p>オ. 看護教育研究委員会を立ち上げる</p> <p>・看護教員の連携を深める</p> <p>看護教育研究委員会を立ち上げ、定期的に看護教員の打ち合わせを行い、連携を深めることに貢献できた。今後は定期的に勉強会も実施していきたい。本年度、新規に実施した授業アンケート結果についても、各教員がその内容を参考にして授業改善を図った。</p>
---	---	---

28年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.2

中期的目標	准看護師資格試験合格者 100%連続達成	
本年度目標	准看護師資格試験合格者 100%達成	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
<p>ア 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通しての計画的な受験対策を行う</p>	<p>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身に付けさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>2年 自己学習力の強化を狙い、解答の復習を徹底し、専門科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>3年 集中的な弱点克服学習を行い、資格試験合格 100%を目指す</p>	<p>准看護師資格試験合格者 100%達成</p> <p>ア. 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通しての計画的な受験対策を行う</p> <p>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身に付けさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>朝学習の積み重ねが准看模試結果につながるよう、取り組みを行った。模試実施後は解説をしっかりと行い、知識の定着を図った。2月上旬に実施した低学年用の准看模試において、基礎看護科目については正解率 60%に近づけることができた。上位の生徒に対しては正解率 100%を求めるなど、能力に応じた目標設定を行わせたい。</p> <p>2年 自己学習力の強化を狙い解答の復習を徹底し、専門科目の正解率 60%以上を目指す</p> <p>朝学習の積み重ねが准看模試結果につながるよう、取り組みを行った。模試実施後は解説をしっかりと行い、知識の定着を図った。単に看護の教科だけでなく、看護以外の教科を含めたすべての教科において、看護に関連する分野への関心を持たせることで、自己学習の助けとさせた。また、准看模試実施後に徹底した復習を行うとともに、自己学習を進めやすい基礎看護全範囲の試験・復習を徹底して行った。既習の看護全科目において、全国平均の 8 割を確保できた。食物栄養・保健医療の分野では全国平均を上回る結果が出せた。</p> <p>3年 集中的な弱点克服学習を行い、資格試験合格 100%を目指す</p> <p>日本模試センターの模試を 3 回、教員作成の模試を 8 回、計 11 回の模試を実施し、弱点を把握し強化するために活用した。最終的に、准看護師資格試験に全員合格を達成できた。国家試験（看護師資格試験）の傾向変化に対応するため、文章力を向上させ、状況設定問題に対応できる訓練が今後は必要になると考えられる。このような状況を踏まえ、次年度については日本模試センターに加えて東京アカデミーの模試受験も検討する。</p>
<p>イ 模擬テスト結果による習熟度別グループに分けての効果的な補習</p>	<p>・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位群が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか</p> <p>・准看護師資格試験において、80%以上得点できる生徒が 1/3 を超えられるか</p>	<p>イ. 模擬テスト結果による習熟度別グループに分けての効果的な補習</p> <p>・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位群が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか</p> <p>模試結果によってグループ分けを行い、各グループの生徒に対しての補習を看護教員で手分けして行った。3 学期になり、ようやく下位の生徒を安全圏に近づけることができた。</p> <p>・准看護師資格試験において、80%以上得点できる生徒が 1/3 を超えられるか</p> <p>関西広域連合の准看護師資格試験において、自己採点で 80%以上得点できた生徒が半数を超えた。</p>
<p>ウ 看護実習の時間確保のための関係医療機関との密な連携</p>	<p>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</p>	<p>ウ 看護実習の時間確保のための関係医療機関との密な連携</p> <p>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</p> <p>3 年生において、入院等による欠席の理由で、長期にわたる補充実習の必要な生徒が例年になく多く出てしまった。これまで以上に生徒の健康管理に対する意識づけを強化する必要がある。看護実習についての内規の作成を検討する必要がある。</p>
<p>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底</p>	<p>・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートだったか</p>	<p>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底</p> <p>・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートだったか</p> <p>満足してもらえる内容のレポートに達している生徒の数は徐々にではあるが増えてきている。自分の考えをまとめて表現する力が不足している生徒が年々増加している実情を踏まえ、昨年度より導入した表現力養成のための授業が多少なりと実効化している面はあるものの、十分な成果を出せているとは言いがたい。ただ、短期大学部以外に進学した生徒にとっては、小論文などの入試科目への対策としての効果はあったと考えられる。</p>

28年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.3

中期的目標	学習環境の整備	
本年度目標	安全で快適な学習環境の整備を行う	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生を中心に全教職員で清掃区域を担当し、指導を徹底できたか 	<p>安全で快適な学習環境の整備を行う</p> <p>ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生を中心に全教職員で清掃区域を担当し、指導を徹底できたか <p>清掃は必ず行うものとの認識を生徒に持たせることができた。教員不在の状況でもしっかりと清掃活動ができた。今後の課題として、清掃区域を体育館等にまで広げていく必要がある。</p>
イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか 	<p>イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか <p>個人用ロッカーの施錠が不十分なための盗難が数回起きた。施錠した個人用ロッカーからの盗難については報告されていないので、施錠を徹底して行うようさらに指導を強化したい。前年と比較して盗難件数は減少したが、鍵の管理体制についても十分とは言えないので、教職員の意識付けとともに防犯指導を強化していきたい</p>
ウ 教室・設備の迅速な改修を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・教室・設備の不備を素早く見出し、関係部署に連絡を確実に行えたか ・生徒に施設・設備保全のための指導を行えたか 	<p>ウ 教室・設備の迅速な改修を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室・設備の不備を素早く見出し、関係部署に連絡を確実に行えたか ・生徒に施設・設備保全のための指導を行えたか <p>校舎内を定期的に巡回することで、設備等の不備を早く発見し、関係部署への連絡もスムーズに行えた。ただし、大掛かりな改修が必要なものについては、中期改修計画にそって順次行っていく必要がある。</p> <p>生徒に施設・設備を丁寧に使用することを折に触れて指導した。破損報告は1件のみであった。女子比率の高いこともあり、器物破損は非常に少ないが、生徒の関与が判明した個々の破損については、その都度しっかりと指導した。</p>
エ 計画的に教室・設備の整備を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・教室・設備の具体的な整備計画を検討する ・中長期計画の中に不備設備についての解決策の取り組みについて盛り込む 	<p>エ 計画的に教室・設備の整備を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室・設備の具体的な充実計画を検討する ・中長期計画の中に不備設備についての解決策の取り組みについて盛り込む <p>学級数を考慮すると、校舎内の教室数に全く余裕のない状況であるため、現在は寮として使用していない誠和寮の有効活用も考えていく必要がある。合同使用可能な教室（講堂等）へのモニター設置についても検討したい。</p> <p>本校の将来の在り方についての検討が進まず、中長期計画がしっかりと立てられていない状況の中でも、早急を要する不足設備の改善を企画したい。</p>

28年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.4

中期的目標	学校運営の充実と検証	
本年度目標	生活指導の充実と学校生活充実のための調査・検証	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
ア 挨拶の習慣化をはかる	<ul style="list-style-type: none"> ・実習だけでなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか 	<p>基本的生活習慣とマナーの確立と自主性・主体性の伸長</p> <p>ア 挨拶の習慣化をはかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習だけでなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか <p>生活委員会が中心となって校舎玄関での挨拶運動を実施したが、生徒の反応はよいので今後も継続していきたい。ただ、自分から積極的に挨拶ができる生徒はまだまだ少ない状況であり、生徒の意識を今後も高めていきたい。教員の姿勢が生徒にも反映するので、全教職員が積極的に挨拶するよう働きかけを行いたい。</p>
イ 遅刻・早退・欠席をなくすための意識付けを行うとともに、家庭連絡を密に行う	<ul style="list-style-type: none"> ・バス遅延も見越しての早朝登校ができていますか ・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか ・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか 	<p>イ 遅刻・早退・欠席をなくすための意識付けを行うとともに、家庭連絡を密に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス遅延も見越しての早朝登校ができていますか <p>雨天時は早めのバスに乗る生徒が増え、以前に比べて遅刻の生徒は格段と少なくなってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか <p>教員の5分前行動については不十分な状況であり、今後の努力が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか <p>余裕を持った登校を呼びかけたこともあってか、遅刻者数は前年度より大幅に減少した。遅刻者への指導を徹底して行うことで、さらなる遅刻者数減少に結びつけたい。</p>
ウ 校内外の研修会を通し、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか 	<p>ウ 校内外の研修会を通し、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか <p>各種の校外研修会への参加者数は増加しているが、職員会議などを通して共通理解を図る機会がほとんどなく、その成果が活かされていない。会議等で発言する教員が少なく、積極的な会議運営ができていない。研修会での資料を配布し、簡単な紹介をする場を職員朝礼・教員会議等の場で確保する必要がある。</p>
エ 学校生活充実を目的とした調査の実施・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る 	<p>エ 学校生活充実を目的とした調査の実施・検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る <p>種々のアンケート結果からさまざまな課題が見えてきている。対応可能な課題については順次対応していったため、徐々にではあるが学校生活の向上は図れている。解決が困難な課題であっても、何らかのアプローチを試みるよう努力していきたい。</p>
オ 教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る。 ・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める 	<p>オ 教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る <p>積極的に参加する教員は以前に比べて増加してきているが、教科や分掌によって偏りがある。予算の許す範囲で研修会等へは積極的に参加するようになりたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める <p>看護教育研究委員会を立ち上げたが、目に見える成果につながっていない。本校の目的である准看護師・看護師養成を効果的に行えるよう、しっかりとした教育指導計画を立て、大学や短期大学の教員とも連携して研究を進めていきたい。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [平成29年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>保護者アンケート全般について</p> <p>平成26年度以降、毎年6月に、保護者に対して同設問で学校評価アンケートを実施し、結果を分析した。新学期が始まって間もない時期のため、主に昨年度を評価して考えてもらうよう依頼した。</p> <p>全体回収率は、26年度71.3% 27年度78.0% 28年度80.1% 29年度82.7%と、年々高まっている。</p> <p>回収率を学年ごとに分析すれば、1年生は新鮮味もあるのか最も高い。2年生については、実施時期が実習期間中であることが回収率の低い要因の1つとして考えられる。</p> <p>1年保護者 75.9%→84.0%→91.1%→95.5% 2年保護者 68.6%→70.0%→77.6%→82.5% 3年保護者 69.3%→77.6%→70.5%→71.1%</p> <p>「分析」</p> <p>今年度も昨年同様にアンケート用紙を郵送ではなく、封筒に入れて生徒を通じての手渡しの方法で行った。回答内容は、施設・設備面を除く項目については肯定的な回答が多かった。特に3年生の保護者については、施設・設備面での改善がはかどらない状況に不満を持っていることがうかがえた。また、学校行事や生徒会行事について、生徒が満足していないと回答した保護者も多かったので、この点は何らかの対策が今後必要になると考えられる。</p> <p>I 特色や方針の明確化について</p> <p>Q1 藍野高等学校からの各種案内文書・ホームページ・保護者会等の機会において、学校の特色や方針を明確に示すことができていると思いますか?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>数値は%、()内は昨年度 肯定的数値：評価する+ある程度評価する (以下同様)</p> </div> <p>3年 肯定 15+58(30+52) やや否定 12(7) 否定 6(0) 2年 肯定 25+47 (25+53) やや否定 11(6) 否定 5(3) 1年 肯定 33+39(24+59) やや否定 5(6) 否定 0(1)</p> <p>「分析 I」</p> <p>本校の教育課程の特殊性については、入学前に説明を十分にいき、本校の教育方針を保護者・中学生に十分に理解してもらった上で入学してもらうよう心がけている。また、少しずつではあるがホームページの充実を努めたこともあり、肯定的な回答は圧倒的に多い。ただ、否定的な回答が昨年度より増加しているため、今後は行事や実習についての広報を保護者にわかりやすく丁寧に行うことを心掛けたい。教職員のアンケートでは、8割以上が肯定的な回答であったが、否定的な回答としてはホームページを充実してほしいという内容のものが多かった。</p>	<p>「全般について」</p> <p>A氏より</p> <p>保護者アンケートでは、全般的に3年生の保護者の不満足度の割合が高く、過去3年間を見ても、今年の3年生の不満の割合が特に高いように見受けられるが、何か要因があるのでしょうか？</p> <p>B氏より</p> <p>大多数の生徒が将来看護師になるという目的をもって入学しているので、学校生活における満足度は比較的高いと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>アンケートが全般的に回答しやすく、適切な内容であることが回収率のよさにつながっていると思います。入学年度により回収率に違いがあるのも興味深いです。</p> <p>D氏より</p> <p>保護者アンケートの実施は、学校に対する要望などを素直に伝えることができるので、改善に向けてのヒントとして扱えるよう、続けていただけたらと思います。</p> <p>「特色や方針の明確化について」</p> <p>B氏より</p> <p>ホームページに学校行事や時間割なども掲載すれば、内容をさらに充実させることができると思います。</p> <p>C氏より</p> <p>入学希望者も多く目にするホームページ等について保護者が暫定的に高く評価されているのはすばらしいと思います。否定的な意見が増えたのは「目が肥えた」保護者が増えたのではないかと思います。</p> <p>D氏より</p> <p>藍野高校は職業高校として特殊性が高いため、どのような教育が行われているかなど、ホームページに対しての期待は高いと思います。否定的な回答の方には具体的にどのような情報が欲しいのかをアンケートで聞くなどの工夫も必要だと思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [平成29年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																		
<p>Ⅱ 危機管理や安全対策について</p> <p>Q2 学校は危機管理や安全対策に努めていると思いますか? (生徒への危機管理教育・安全指導・学校全体のセキュリティについて)</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>3年 肯定 12+44(20+48)</td> <td>やや否定 15(17)</td> <td>否定 5(0)</td> </tr> <tr> <td>2年 肯定 14+58(27+40)</td> <td>やや否定 10(8)</td> <td>否定 3(1)</td> </tr> <tr> <td>1年 肯定 31+41(26+56)</td> <td>やや否定 5(1)</td> <td>否定 0(1)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅱ」</p> <p>平成26年度に、生徒用個人ロッカーおよび監視カメラ5台の設置を行ったことで、一定の危機管理対策を推進することができた。また、全校朝礼時やHR活動等で、危機管理、安全についての講話を随時行っている。警備員の巡回も増やされ、安心感が醸成されていることも大きく、生徒への危機管理教育をさらに推進するようになりたい。</p> <p>教職員のアンケートでは、耐震対策を含めた施設・設備面での充実に加えて、教職員の危機意識の欠如など、セキュリティ一面での不備を指摘する意見があった。また、女子寮も併設されているため、寮における安全対策についても併せて考えていく必要がある。</p> <p>Ⅲ 教職員の対応</p> <p>Q3 学校に電話をかけられたとき、あるいは来校されたときに、教職員の対応は適切であると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>3年肯定 54+31(50+39)</td> <td>やや否定 10(4)</td> <td>否定 2(2)</td> </tr> <tr> <td>2年肯定 60+32(59+32)</td> <td>やや否定 3(3)</td> <td>否定 3(3)</td> </tr> <tr> <td>1年肯定 57+34(63+27)</td> <td>やや否定 0(5)</td> <td>否定 0(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅲ」</p> <p>保護者アンケートでの教職員の対応については、肯定的な意見が大半を占め、例年評価が高い。教職員のアンケートでは、肯定的な回答が91%、否定的な回答が9%あった。教職員の対応や生徒に対する指導が、生徒や保護者の気持ちを損ねることがないように今後も注意していきたい。</p>	3年 肯定 12+44(20+48)	やや否定 15(17)	否定 5(0)	2年 肯定 14+58(27+40)	やや否定 10(8)	否定 3(1)	1年 肯定 31+41(26+56)	やや否定 5(1)	否定 0(1)	3年肯定 54+31(50+39)	やや否定 10(4)	否定 2(2)	2年肯定 60+32(59+32)	やや否定 3(3)	否定 3(3)	1年肯定 57+34(63+27)	やや否定 0(5)	否定 0(0)	<p>「危機管理や安全対策について」</p> <p>A氏より</p> <p>危機管理や安全対策についての教職員の評価が低いですが、具体的に何が欠けているのかを明確にしてほしい。</p> <p>B氏より</p> <p>予算面のことがあるとは思いますが、施設自体の耐震対策が不十分であるので、改善すべきだと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>警備員の配置や巡回によって以前より不審者が入りにくい学校になってきたと思います。</p> <p>D氏より</p> <p>監視カメラの設置や警備員の巡回など、学校は危機管理や安全対策について意識して取り組んでいると感じます。</p> <p>「教職員の対応について」</p> <p>A氏より</p> <p>電話や来校時の教職員の対応については、大半の保護者が満足しているようである。</p> <p>B氏より</p> <p>教職員の対応については、保護者から十分評価されていると思います。</p> <p>D氏より</p> <p>教職員の方々の対応は毎回感心するほど丁寧で、子供たちを安心して任せる事ができています。否定的な意見の方には、具体的な内容を教えていただくのも必要かと思います。</p>
3年 肯定 12+44(20+48)	やや否定 15(17)	否定 5(0)																	
2年 肯定 14+58(27+40)	やや否定 10(8)	否定 3(1)																	
1年 肯定 31+41(26+56)	やや否定 5(1)	否定 0(1)																	
3年肯定 54+31(50+39)	やや否定 10(4)	否定 2(2)																	
2年肯定 60+32(59+32)	やや否定 3(3)	否定 3(3)																	
1年肯定 57+34(63+27)	やや否定 0(5)	否定 0(0)																	

学校評価アンケートの結果と分析 [平成 29 年 6 月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>IV 施設・設備等の教育環境の充実について</p> <p>Q4 学校は、施設・設備等の教育環境の充実に努めていると思いますか? 数値は %、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 5+29(19+53) やや否定 29(11) 否定 25(8)</p> <p>2年 肯定 22+48(20+28) やや否定 22(27) 否定 3(16)</p> <p>1年 肯定 30+39(22+57) やや否定 14(13) 否定 3(0)</p> <p>「分析 IV」</p> <p>平成 28 年度から全学年 3 学級編成となったため、校舎内においては自由に使用できる予備教室が皆無となり、施設・設備の不十分さは際立ってきている。法人本部の協力も得て、トイレ設備は改善・充実されてきてはいるが、女子トイレ個室数の増加までには至っていない。校舎・設備の老朽化と狭隘感は否めないが、予算等の関係もあるため長期計画で取り組みたい。看護実習室については今後、新規備品をそろえる計画もあり、保護者にも実習施設の充実については評価されているのではないかと考える。3 年生の保護者において、前年と比較して否定的な回答の割合がかなり多くなっているが、入学後、時間が経過しているのに設備面の充実がなかなか進まないことへの不満が表れているものと思われる。</p> <p>V 保護者との連携や情報発信について</p> <p>Q5 学校は、保護者との連携や情報発信に努めていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 18+49(30+44) やや否定 16(11) 否定 9(6)</p> <p>2年 肯定 23+51(26+50) やや否定 18(11) 否定 3(6)</p> <p>1年 肯定 32+34(21+51) やや否定 14(15) 否定 7(0)</p> <p>「分析 V」</p> <p>平成 28 年度から緊急時連絡用にフェアキャスト（学校連絡網サービス）を導入した。フェアキャスト導入以前は、台風の影響や電車運休による休校の連絡を電話で教員が手分けして行っていたが、導入により保護者・生徒への必要な連絡を短時間で確実に伝えるようになった。教職員のアンケートでは約 7 割が肯定的な意見であったが、行事やクラブ活動が少ない本校においては、ホームページへのトピックス掲載を多くすることが困難である。学年や学級通信の発行回数を増やすなど、情報発信の機会を増やし、少しでも保護者との連携を深めることができるよう努力したい。</p>	<p>「施設・設備等の教育環境の充実について」</p> <p>A 氏より</p> <p>保護者・生徒が実習設備に満足しているというのほどから言えるのか。</p> <p>B 氏より</p> <p>女子生徒数に対してトイレの数が少ない状況が続いている。改善が必要だと思います。</p> <p>C 氏より</p> <p>休み時間にズラッと並ぶトイレ待ちの生徒の列に心を痛めています。予算の関係もあって、先生方の努力ではいかんともしがたい所だと思います。</p> <p>D 氏より</p> <p>設備面に関しては、やはり一般の私立高校の華やかさや設備の充実をイメージしてしまう保護者が多いため、奥に入り込んだ場所にある目立たない藍野高校には物足りなさを感じてしまうと思います。子供から最近はずっと設備が整えられていると聞いて期待しています。</p> <p>「保護者との連携や情報発信について」</p> <p>A 氏より</p> <p>保護者がどのような情報を求めているのかについて十分な分析ができているのか。学校からの働きかけが一方通行にならないように注意すべきである。</p> <p>C 氏より</p> <p>フェアキャストの導入で、生徒も保護者も安心、便利になっていることがうかがえます。高校と保護者の連携となると、どのようなものか思い浮かばない人も多く、肯定的な回答が 7 割にとどまったのではないのでしょうか。</p> <p>D 氏より</p> <p>藍野高校は保護者が関わる行事が少ないため、情報の発信については懇談会等でわかりやすくきちんと伝えられていると思います。現状で満足できると考えます。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [平成29年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																																				
<p>VI 授業の工夫について</p> <p>Q6 授業の内容や指導方法に、工夫がされていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年 肯定</td> <td>14+43 (26+52)</td> <td>やや否定</td> <td>10 (4)</td> <td>否定</td> <td>12 (4)</td> </tr> <tr> <td>2年 肯定</td> <td>17+47 (25+46)</td> <td>やや否定</td> <td>11 (3)</td> <td>否定</td> <td>3 (7)</td> </tr> <tr> <td>1年 肯定</td> <td>27+29 (19+45)</td> <td>やや否定</td> <td>3 (1)</td> <td>否定</td> <td>1 (0)</td> </tr> </table> <p>「分析 VI」</p> <p>前年度と比較して各学年とも否定的な回答の割合が高くなっている。平成28年度より看護教育研究委員会を立ち上げ、2ヶ月に1度の割合で授業研究を定例化し、また、高大連携を意識して藍野短大との間で看護教員の連絡会も開始した。平成28年度より、マークシートを使った授業アンケートを全授業を対象に1学期終了後に実施し、その結果を各教員にフィードバックすることで2学期以降の授業改善の参考としてもらった。教育課程が密なため、時間割の余裕がなく、一般教科での授業研修を目指した授業公開の機会を持つのが難しい状況ではあるが、何らかの取り組みを今後は考えていく必要がある。夏期休暇中の教育課程研究会には全教科参加しているが、教科毎に行われている研修会などに積極的に参加することで、授業内容や指導方法の改善を図っていききたい。教職員のアンケートでは、ほぼ全員が授業内容や教材、指導方法に工夫をしていると回答していたが、6割以上が組織的な取り組みが出来ていないと回答していた。</p> <p>VII 生徒の悩みや問題について</p> <p>Q7. 学校は生徒の悩みや問題に対して適切に対応できていると思いますか? 数値は %、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年 肯定</td> <td>26+30 (26+41)</td> <td>やや否定</td> <td>18 (10)</td> <td>否定</td> <td>10 (10)</td> </tr> <tr> <td>2年 肯定</td> <td>29+44 (21+41)</td> <td>やや否定</td> <td>11 (10)</td> <td>否定</td> <td>3 (7)</td> </tr> <tr> <td>1年 肯定</td> <td>29+29 (23+41)</td> <td>やや否定</td> <td>8 (5)</td> <td>否定</td> <td>2 (0)</td> </tr> </table> <p>「分析 VII」</p> <p>教職員のアンケートでは9割が肯定的な回答をしている。保護者アンケートでは否定的な意見が1~2割みられるが、6~7割の保護者が肯定的な回答をしている。本校の教職員は生徒の体調や出席状況の把握を心掛け、小まめな声掛けや面談も積極的に行い、保護者との連絡も密にとっている。スクールカウンセラーとの相談件数が年を重ねるごとに徐々に減少してきていることも、生徒の人間関係が穏やかになりつつあることを示していると考えられる。</p>	3年 肯定	14+43 (26+52)	やや否定	10 (4)	否定	12 (4)	2年 肯定	17+47 (25+46)	やや否定	11 (3)	否定	3 (7)	1年 肯定	27+29 (19+45)	やや否定	3 (1)	否定	1 (0)	3年 肯定	26+30 (26+41)	やや否定	18 (10)	否定	10 (10)	2年 肯定	29+44 (21+41)	やや否定	11 (10)	否定	3 (7)	1年 肯定	29+29 (23+41)	やや否定	8 (5)	否定	2 (0)	<p>「授業の工夫について」</p> <p>A氏より</p> <p>教職員を対象にしたアンケートのQ8「組織的に、授業の内容や指導方法に工夫がなされていますか」とQ9「あなた自身、授業の内容や教材、指導方法などに工夫をしていますか」の結果に大きな差が生じていることは留意すべきである。指導方法などについて、学期終了時に共有する研修を行うことが必要ではなかろうか。</p> <p>組織的な取り組みの具体的方法について早急に検討されることを期待する。その際には、授業アンケートの活用も留意されたい。</p> <p>C氏より</p> <p>教員へのアンケートのQ8「組織的に授業内容や指導方法に工夫がなされているか」とQ9「自分自身で授業の内容や教材、指導方法に工夫をしているか」のかい離がここでの数値に反映されているように思えます。</p> <p>D氏より</p> <p>授業の工夫については保護者が実際に評価することが困難であるため、子供の意見を聞いての結果がこのような評価になっていると思われます。看護という専門教科が主になっている高校であるため、子供達は興味が沸くまでは楽しくないと思うのがほとんどだと思います。また、外部講師の方が多いため、工夫にも難しい部分も理解できません。</p> <p>「生徒の悩みや問題について」</p> <p>B氏より</p> <p>担任や色々な先生方が、細やかな対応をしてくれているのがわかります。スクールカウンセラーの相談件数が減少してきていることはよい傾向だと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>藍野高校の先生方はよく生徒達の話聞いてくださっていると思います。</p> <p>D氏より</p> <p>藍野高校の先生方は生徒に寄り添っていただいている、と感じることが多く、安心して子供をお任せしています。</p>
3年 肯定	14+43 (26+52)	やや否定	10 (4)	否定	12 (4)																																
2年 肯定	17+47 (25+46)	やや否定	11 (3)	否定	3 (7)																																
1年 肯定	27+29 (19+45)	やや否定	3 (1)	否定	1 (0)																																
3年 肯定	26+30 (26+41)	やや否定	18 (10)	否定	10 (10)																																
2年 肯定	29+44 (21+41)	やや否定	11 (10)	否定	3 (7)																																
1年 肯定	29+29 (23+41)	やや否定	8 (5)	否定	2 (0)																																

学校評価アンケートの結果と分析 [平成29年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																																										
<p>Ⅷ 高校生の服装やマナー等について</p> <p>Q8. 藍野高等学校生の礼儀や挨拶ならびに頭髪・服装等身だしなみはきちんとしていると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>23+44(22+59)</td> <td>やや否定</td> <td>13(9)</td> <td>否定</td> <td>8(4)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>38+54(35+48)</td> <td>やや否定</td> <td>3(10)</td> <td>否定</td> <td>0(4)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>46+37(47+39)</td> <td>やや否定</td> <td>4(4)</td> <td>否定</td> <td>4(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅷ」</p> <p>1・2年生では8～9割の保護者が肯定的に捉えている。学年があがるにつれて気の緩みによる服装の乱れなどが目立つ傾向は例年認められ、3年生では肯定的な意見の保護者の割合が6割強で1・2年生と比較すると低い。また、教職員では肯定的な意見は約半数、否定的な意見が4割を占めており、生徒への指導が不十分であると考えている教職員が多い。生徒を対象としたアンケート等では、学校の厳しい指導に対する不満が記入されているが、将来の医療従事者である自覚を促し、教職員が足並みをそろえて粘り強く指導していく必要がある。</p> <p>Ⅸ 清掃や整理整頓について</p> <p>Q9 学校は清掃や整理整頓が行き届いていると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>30+46(45+44)</td> <td>やや否定</td> <td>12(0)</td> <td>否定</td> <td>3(0)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>45+46(36+50)</td> <td>やや否定</td> <td>0(8)</td> <td>否定</td> <td>1(2)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>46+37(41+38)</td> <td>やや否定</td> <td>1(4)</td> <td>否定</td> <td>1(1)</td> </tr> </table> <p>「分析 Ⅸ」</p> <p>本校では、放課後に1年生が全員清掃で学級の教室以外の全区域を清掃している。保護者アンケートの結果では、各学年とも8～9割の保護者が肯定的な回答をしている。また、教職員も約8割が肯定的な回答をしており、清掃・美化に対する学校での取り組みが成果を上げているものと考えられる。ただ、体育館などの特定の箇所の汚れを指摘する意見もあるため、次年度については、清掃箇所の見直しも計画したい。</p>	3年	肯定	23+44(22+59)	やや否定	13(9)	否定	8(4)	2年	肯定	38+54(35+48)	やや否定	3(10)	否定	0(4)	1年	肯定	46+37(47+39)	やや否定	4(4)	否定	4(0)	3年	肯定	30+46(45+44)	やや否定	12(0)	否定	3(0)	2年	肯定	45+46(36+50)	やや否定	0(8)	否定	1(2)	1年	肯定	46+37(41+38)	やや否定	1(4)	否定	1(1)	<p>「高校生の服装やマナーについて」</p> <p>A氏より</p> <p>ごく一部の生徒を除き、全体的には身だしなみは改善しつつあると感じている。行き届いた生活指導の成果だと思われる。</p> <p>B氏より</p> <p>通学用のバスを利用している生徒のマナーが悪い(バスの車内、大きな声で喋る生徒がいる)と聞いています。静かにするように指導していただければと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>3年生の保護者が厳しい評価をしてくれていることは、それだけ生徒をよく見ているということで、有り難いことだと思います。先生方の評価も厳しかったことから、保護者と教職員の連携が十分にとれるようになれば、さらに良い学校になっていくのではないのでしょうか。</p> <p>D氏より</p> <p>一般的な高校生からすると、服装もマナーも良いように感じますが、学校で先生方に接している姿を見ると、もう少し立場をわきまえた態度が必要かなと感じます。学校側の厳しい指導は、これから目指す医療人としての自覚付けには必要だと思うので、続けていただきたいです。</p> <p>「清掃や整理整頓について」</p> <p>A氏より</p> <p>清掃、整理整頓の励行は十分に指導されていると見受けられ、将来看護師を目指すという点を考慮すると結構なことだと思います。</p> <p>C氏より</p> <p>上靴に履き替えない藍野高校ですが、いつもきれいだと思います。教室清掃では大きなゴミが落ちていることもあり、美化意識について生徒に変容させることも必要かと思います。</p> <p>D氏より</p> <p>いつも整理・整頓され、きれいな環境で生活できているように思います。生徒達も満足しているのではないのでしょうか。</p>
3年	肯定	23+44(22+59)	やや否定	13(9)	否定	8(4)																																					
2年	肯定	38+54(35+48)	やや否定	3(10)	否定	0(4)																																					
1年	肯定	46+37(47+39)	やや否定	4(4)	否定	4(0)																																					
3年	肯定	30+46(45+44)	やや否定	12(0)	否定	3(0)																																					
2年	肯定	45+46(36+50)	やや否定	0(8)	否定	1(2)																																					
1年	肯定	46+37(41+38)	やや否定	1(4)	否定	1(1)																																					

学校評価アンケートの結果と分析 [平成29年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p>X 進路に関する指導について</p> <p>Q10 進路に関する指導や面接、情報提供等が十分に行われていると思いますか? 数値は%、()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 15+37(17+52) やや否定 20(18) 否定 10(4) 2年 肯定 19+42(13+35) やあ否定 13(11) 否定 3(6) 1年 肯定 23+22(16+35) やや否定 1(1) 否定 5(0)</p> <p>「分析 X」</p> <p>1年生の保護者の大半は生徒の短期大学部進学を意識して高校に入学しているため、卒業後の進路に対する関心は他学年と比較すると低い。25年度卒業生(5期生)までは本校卒業生は全員短期大学部に進学していたが、26年度卒業生以降は専門学校、4年制大学など短期大学部以外への進学も目立つようになった(6期生:9名、7期生:14名、8期生:7名)。そのため、短期大学部以外の他の進路についても積極的に情報を求めることが必要になってきている。また、教職員の半数が否定的な回答をしているが、本校の教育課程上の問題～一般大学進学を意識した進路指導の困難なこと～なども一因かもしれない。</p> <p>本学院においてはシステム上、藍野高校生の短期大学部への進学が推奨されるのは言うまでもないが、生徒自身が積極的・能動的に短期大学部へ進学するように指導していきたい。</p> <p>XI 学校行事等について</p> <p>Q11 生徒は学校行事や生徒会行事に満足していますか? %で表示 ()内は昨年度</p> <p>3年 肯定 6+43(24+35) 余り 28(24) 否定 20(13) 2年 肯定 11+46(8+43) 余り 22(18) 否定 6(23) 1年 肯定 19+46(17+54) 余り 14(10) 否定 2(3)</p> <p>「分析 XI」</p> <p>アンケート項目中、「施設・設備面等の教育環境の充実」と並び保護者において否定的な回答が最も多い項目であった。特に3年生の保護者については約半数が否定的な回答をしている。また、教職員の6割近くが否定的な回答をしていることから、教員自身が生徒の学校行事に対する不満を身近に感じている状況がうかがえる。職業高校の現実として授業時間数の制約もあり、全学年をあげて学校行事に関わる日数は制限される。そのため、生徒の満足度を上げられるような行事の構築が困難な状況ではあるが、生徒会活動等を通じて少しでも生徒に満足してもらえるような行事を、生徒と教職員が共に考えていく必要がある。</p>	<p>「進路に関する指導について」</p> <p>A氏より</p> <p>短期大学部へのスムーズな接続に関して、いろいろと苦労されているとは思いますが、教職員が不十分だと思っている事柄について意識統一を図ることが必要であると思います。進路に関する十分な情報とはどのような内容を含むのか、について全般的に確認、議論されてはいかがでしょうか。</p> <p>C氏より</p> <p>1年生の保護者がアンケートに「わからない」と回答したのは関心が低いというより、情報が少ないからではないでしょうか。進学の利点を1年次から保護者に繰り返して伝え、生徒の希望が揺れた時の支えになってもらえたらと考えます。</p> <p>D氏より</p> <p>進路に関しては3年生の保護者の方の声が率直な意見であると思うので、そのような声に応じていただければと思います。</p> <p>「学校行事等について」</p> <p>A氏より</p> <p>ここで言われている「学校行事」、「生徒会行事」というのが、具体的にどのようなものなのか、また、その目的は何なのか、についてもっと踏み込んで明示していく必要がある。必ずしも全般的な行事である必要はなく、生徒の自主性やリーダーシップを育成するための学年ごとの取り組みなどを検討することも必要ではなからうか。</p> <p>C氏より</p> <p>数年前、体育科教員と生徒が話し合い、体育祭の内容を変更されました。その年から体育祭について、「楽しみ」、「楽しかった」と話す生徒が大幅に増えました。生徒と先生方が、保護者も巻き込んで話し合っていられることを望みます。</p> <p>D氏より</p> <p>藍野高校は職業高校であり、高校卒業・准看護師免許の取得という2つのカリキュラムを3年間でこなすという厳しい現状があります。そのことがうまく伝わっておらず、行事日数が少ないととらえられているのではないかと感じます。入学時の説明はもちろんですが、要所要所で伝えていき、理解を得る必要があるのではと思います。</p>